

2018,4,13

御池山の準備に行きました

鞍掛峠は、滋賀県側が土砂崩れのため当分の間通行止め。三重県側から登ります。朝早いですがご了解ください。お花が多く、キラキラ輝く新緑がとっても綺麗です。また、日本庭園のようにすばらしい景観も楽しめます。アクセスの確認、危険箇所のチェック、コースタイム調査、自然観察のポイント調査などしました。みなさまのご参加をお待ちしています。

◆コースの様子



鞍掛峠トンネル登山口



コグルミ谷登山口



五合目



新緑がまばゆいほど綺麗



苔むした岩々



御池岳山頂



すばらしい自然・景色が楽しめます



日本庭園のようです



鈴北岳からの眺望



鞍掛地蔵尊



鞍掛峠 791m



下山

◆歴史

鞍掛峠 至 山口冷川 五十丁
自 大君ヶ畑 五十丁

伊勢と近江を結んだ鞍掛峠（791メートル）は、その昔「胸突八丁」といわれた難所で私達の先祖が京都本山へ訪禱に参った道であり、お多賀参りに寿福を念じた道である。一方近江の人々にとっては伊勢参宮に下向した街道で、両国の文化交流の道であった。今は国道306号鞍掛トンネル（長さ745メートル 標高625メートル）の開通で、ただ昔をしのぶ歴史の道と化した。

第五十二代嵯峨天皇の弘仁元年（810）薬子の乱で都を逃れた参議藤原仲成がこの峠を越えて当町西野尻に隠住したという伝説がある。また、峠の名は、第五十五代文徳天皇の天安二年（858）第一皇子惟喬親王が右大臣藤原良房の追討を恐れ都落ちをせられた時、この峠で馬の鞍をはずして休憩をせられた故事にちなんで名付けられたもので、古くは電筆峠とも呼んでいた。天文十三年（1544）十月には俳諧師宗牧が江戸に下る際つた「あや雪しまきよこざる笠やどり」の句が残されている。こうした数々の歴史が秘められた道が鞍掛峠である。

藤原町教育委員会

◆自然観察



ネコノメソウ



ミヤマカタバミ



キケマン



キケマンの蕾



ニリンソウ



ピンクのニリンソウ



名前? 群生地にお花がいっぱい



キクザキイチゲ



ヒトリシズカ



?



カタクリの葉：裏



カタクリの葉：表



アセビ



カタクリ



カタクリ



ヤマルソウ